

三鷹市立中原小学校 令和5年度【社会】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年			
第2学年			
第3学年	<p>【成果】 ○体験的な活動を取り入れ、資料やインターネットを活用したりすることで、児童が課題に対して意欲的に取り組むことができた。</p> <p>【課題】 ○資料の正しい読み取りのため、地図や資料の提示を行い、地図の読み取りや方向など基本的な知識技能を身に付ける。</p>	<p>【現状】 ○学区を東西南北の方角で探検することで、興味関心を高め自分の知識と三鷹市の地図を繋げ、特徴を見出すことができた。 ○地図記号については、関心も高くある程度身に付いている。 ○実際に見たり聞いたりしたことや、資料をもとに調べたりすることに意欲的である。</p> <p>【課題】 ①地図や表などから必要な情報を読み取ったり、調べたことを整理したりすることに課題がある。 ②方位や視点を変えたときの方角が身に付いていないため地図の読み取りが難しい。</p>	
第4学年	<p>【成果】 ○自分で調べる時間を多く設け、興味関心を広げること、意欲的に学習に取り組むことができた。</p> <p>【課題】 ○地図帳やグラフ、写真などを効果的に活用し、資料の読み取りが正しくできるようになる。</p>	<p>【現状】 ○分からないことをタブレットを活用して調べる児童が少しずつ増えているが、情報量の多さに必要な情報を集めることができていない児童がいる。</p> <p>【課題】 ○都道府県の位置と場所など、基礎的な知識が十分に身に付いていない。 ○資料を活用し調べたり読み取ったりすることはできるが、資料と出来事を結び付けて考えることは難しい。 ○学習したことから自分にできることを考えたりまとめたりすることに課題がある。</p>	
第5学年	<p>【成果】 ○インターネットを使い、単元について自分の興味に合わせて調べるを確保することで、教科書の内容を自ら深めることができた。</p> <p>【課題】 ○知識・技能面の習熟が不十分のため、自分の意見をもつことができない児童が多い。</p>	<p>【現状】 ○学習の導入では、児童の意欲的なテーマをもとに、クイズや話し合い活動を行うことで、興味・関心をもって課題に取り組んでいけるようにする。 ○単元の導入で考えた調べたいことや疑問を視覚化し、学習のめあてにつなげるようにする。 ○問題解決を行う際に、表やグラフ、図等、いくつかの関連ある資料を提示し、そこから分かることを考えさせることで、様々な事柄を比較・関連付けて考えていけるようにしていくために、ワークシートを工夫していく。</p> <p>【課題】 ○単に調べるだけでなく、資料から気付いたことや分かったこと、考えたことなどを書き出し、それを基に、自分の言葉でノートやワークシート、新聞などにまとめる活動を取り入れることで、人々の工夫や努力に気付いたり、社会的事象の意味について考える力や表現する力を付けられるようにする。</p>	
第6学年	<p>【成果】 ○それぞれの学習進路に合わせて、調べたり、自分の意見や考えをもったり、伝え合ったりすることができるようになり学習計画を立て調整しながら進めていくことで、思考力を高めた。</p> <p>【課題】 ○自学自習を活用することができず、定着が不足している。</p>	<p>【現状】 ○いくつかの関連ある資料を提示し、そこから分かることを考えさせることで、様々な事柄を比較・関連付けて考えていけるようにしていく。 ○資料を読み取るときに読み取り方の観点を示す。</p> <p>【課題】 ○単に調べるだけでなく、資料から気付いたことや分かったこと、考えたことなどを書き出し、それを基に、自分の言葉でノートやワークシートにまとめる活動を取り入れることで、考える力や表現する力をつけられるようにする。</p>	